

平成26年12月22日

「日本茶輸出促進協議会」の設立について

日本茶輸出促進協議会
会長 榛村純一

最近の我が国の茶業を取り巻く環境は大変厳しい状況にあります。特にリーフ茶の消費の減退は著しく、このことによる需給バランスの不安定化は茶価の低下を招き、我が国の茶産業に大きな影響を与えています。

一方、国際的に見ますと「和食：日本人の伝統的な食文化」が世界無形文化遺産に登録され、和食の評価が高くなる中で、和食と一体的に培われてきた日本茶は、文化や健康志向等といった面から世界的評価が高まっております。これまで輸出量も安定的に伸びていることから、今後の我が国の茶業振興において重要な取り組みの一つとなっています。

しかしながら、輸出を進めるためには、輸出に適した茶産地の育成、輸出先国の輸入条件の把握、国内流通の検討等多くの課題を抱えており、これらの課題解決を図り、日本茶の海外への魅力発信や国内輸出体制整備等の活動を通じて、輸出振興を積極的に進めることにより我が国の茶産業の振興に努める必要があります。

このような背景を踏まえ、茶生産者、茶商、流通関係者、試験研究者、茶文化人等が一体となって対応することが重要であることから、この度、オールジャパンで日本茶の輸出促進を一層強化していくことを目的とした「日本茶輸出促進協議会」を設立することといたしました。

今後は、本協議会の下、国の掲げるお茶の輸出目標達成に向けて、オールジャパン体制で取り組んで参ります。

<お問い合わせ先>

公益社団法人日本茶業中央会事務局

日本茶輸出促進協議会

担当 柳澤（やなぎさわ）

TEL：03-3434-2001